

『都市文化研究』執筆要項

1. 使用言語

日本語・英語・中国語のいずれかとする。

(これ以外の言語で執筆を希望する場合は、エントリー時に編集委員会に確認すること)

2. 版型

A4版

3. 原稿の分量

原稿の分量は以下の通りとする。外国語原稿の場合も和文に相当する分量とする。

(1)研究論文・研究ノート・研究資料・特別寄稿及び翻訳：

400字換算で60枚以内(本文・注・図表等をふくめて、本誌の体裁で11～15頁)。

(2)研究展望：400字換算で30枚以内(本文・注・図表等をふくめて、本誌の体裁で5～6頁)。

(3)書評・学会レポート・海外レポート：400字換算で10枚以内(本文・注・図表等をふくめて、本誌の体裁で2～3頁)。

(4)企画：内容・体裁とともに、編集委員会と事前に相談すること。

4. 版組と1頁文字数

和文

(1)要旨 横組 48字詰 行数は可変(10～20行) 1段

(2)本文 横組 24字詰 47行 2段(1頁の文字数は2256字)

(3)注 横組 28字詰 行数は可変 2段

英文

英文は1段組とし、各論文の体裁にあわせて個別に対応する。

中文

中文は和文に準ずる。

5. 文字の大きさ

仕上がりは基本的に以下の文字級数で印刷される。特にこれと異なる文字の大きさが必要な箇所は、原稿に指示すること。

本文13Q、注11Q、要旨13Q、図表キャプション13Q、表の文字は基本12Q(13Qは9ポイント、12Qは8.5ポイント、11Qは8ポイント程度)。

6. 題目・章タイトルほか

副題がある場合は、前後にダッシュをつけるのを基本とする。

章タイトルは4行取り。章タイトル及び下位の見出し表記は、編集委員会で統一を図ることがある。

7. 注などについて

「本文」「注」「引用・参考文献」「付記」の順とする。「注」のみでも、「注」と「引用・参考文献」（文献リスト）を分けても、どちらでもかまわない。注番号は、本文中では片括弧を付す。末尾の注では括弧なしとする。

8. 図・表・写真・本文中での引用について

- ・原稿は明瞭なものとし、1点毎に別ファイルとする。
- ・図面について
製図は執筆者が行うこと。トリミング・縮小率・仕上りの大きさを指定すること。必要な文字は貼り込むか、フォント・ポイント・張り込み位置を指示した見本を添付すること。
- ・表について
印刷業者が新しく組むことを原則とする（仕上がりに近い見本を作成する）。作成したものをそのまま製版することも、特殊な場合は認める（高度に複雑で、専用ソフトでないと作成できないようなもの）。打ち出しとともにデジタルデータを入稿すること。
- ・写真について
トリミング・縮小率・仕上りの大きさを指定すること。必要な文字は貼り込むか、フォント・ポイント・張り込み位置を指示した見本を添付すること。
- ・割り付けについて
図・表・写真については、仕上がりの大きさを計算して割り付け、図・表・写真の複写を貼り込んで割り付けた割付見本を提出することが望ましい。そうでない場合も、使用する図・表・写真の仕上がりの大きさを勘案し、頁数を算出すること。
- ・本文中での引用について
本文中で資料等を引用する場合は、該当箇所のインデントを左に3字分詰める。また本文との上下は一行あけないこと。

9. 特殊文字や数式の使用

特殊な文字や記号・数式を使用する時には、必要な見本を添付すること。

10. 著作権への留意

他社が著作権を有する図表や写真等を使用する場合は、著者自身で著作権者からの許諾を事前に得ること。また、翻訳原稿の場合も、原著者および著作権者からの許諾を得ること。

○原稿の提出

- ・以下の原稿等を8月27日（金曜日）、日本時間で16時までに『都市文化研究』編集委員会宛（ucrc_office@lit.osaka-cu.ac.jp）にメールで提出すること。

※その後の差し替え、追加原稿は認めない。

・原稿（要旨、図・表・写真含む）正本1部、副本1部（副本は執筆者名を抜く）。正本、副本いずれもPDF、Word双方の形式で提出すること（合計4ファイル）。

※原稿（A4）は、仕上がりの字数・行数（上記4で規定する版組）で提出すること（本文と注のみ。要旨は別紙で構わない）。また、本文、注、図表等を編集し、刷り上がりイメージがわかる形式で提出する。

なお、研究論文・研究ノート・研究資料・特別寄稿の場合、要旨・キーワード等を以下の通り添付すること。

- ①日本語論文の場合は、和文タイトル・英文タイトル、和文要旨・英文要旨、和文キーワード（5語）・英文キーワード（5語）をつける。和文要旨は600～800字程度、英文要旨は300～400語程度とする。
- ②英語論文の場合は、英文タイトル・和文タイトル、英文要旨・和文要旨、英文キーワード（5語）・和文キーワード（5語）をつける。英文要旨は300～400語程度、和文要旨は600～800字程度とする。
- ③中国語論文の場合は、中文タイトル・英文タイトル・和文タイトル、中文要旨・和文要旨、中文キーワード（5語）・和文キーワード（5語）をつける。中文要旨は300～400字程度、和文要旨は600～800字程度とする。

上記以外の投稿ジャンルの場合、それぞれ以下のものを添付すること。

翻訳：和文タイトル、英文タイトル、和文解題（翻訳者による解説〈翻訳文の前に置くもの〉。和文解題は600～800字程度）、原著の複写。

研究展望：和文タイトル、英文タイトル

・原稿に挿入した図面・表・写真データ（必要な指示書・割付見本）

・大学院生の場合は指導教員の推薦状（1枚）

内容に関する推薦および『都市文化研究』に投稿する理由を記述する。書式自由（但し、指導教員自筆のサイン、もしくは押印のあるもの）。

推薦状については、原則として郵送もしくは大阪市立大学文学部棟2階都市文化研究センター事務局に直接提出すること（やむを得ない場合は、メールでの提出を認める場合がある）。

※投稿原稿を受領した際には、編集委員会より投稿者に基本的にメールにて、3営業日以内に受領確認の回答をおこなうこととする（土日祝は原則対応いたしかねます）。万一、回答のメールが送付されない場合は、改めて上記メールアドレスにご確認ください。

※なお、書式等に関し、上記の規定に合わない原稿が提出された場合、編集委員会で確認の上、原稿受理の前に再提出（修正）を求めることがある。

※投稿原稿が受理された場合、印刷に至るまでの校正作業は、原則としてPDFファイル上で行うこととする。